

平成 28 年 2 月 1 日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第 3 回「東京電力福島第一原子力発電所事故以降の低レベル放射性廃棄物処理処分の在り方」特別専門委員会
開催日時	平成 28 年 1 月 26 日(火) 13:30 ~ 17:00
開催場所	日本原燃(株) 東京支社 2階 第1会議室
参加人数	17名 井口主査、池田委員、出光委員、榎戸委員、大江委員、金子委員、小崎委員、坂下委員、佐々木(尚)委員、高橋委員、野下委員、長谷川委員、福谷委員、古谷委員、三橋委員、椋木委員、柳原委員
議 事	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 第2回会合議事録(案)の確認 第2回会合議事録(案)について確認され、議事録(案)は承認された。</li><li>2. 報告書(案) 特別専門委員会の報告書(案)について議論が行われ、各委員の意見に基づいて記載内容の一部を修正することとなった。</li><li>3. 今後の予定 委員会での意見を踏まえた報告書(案)を各委員に送付し、2月上旬にコメントを集約する。最終版については、各委員からの意見を踏まえ、主査と事務局とで調整を行う。</li></ol>
備 考	

平成 27 年 11 月 25 日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第 2 回「東京電力福島第一原子力発電所事故以降の低レベル放射性廃棄物処理処分の在り方」特別専門委員会
開催日時	平成 27 年 11 月 19 日(木) 13:30 ~ 17:15
開催場所	日本原燃(株) 東京支社 2階 第1会議室
参加人数	17名 井口主査、佐々木(泰)幹事、池田委員、榎戸委員、大江委員、金子委員、坂下委員、佐々木(尚)委員、高橋委員、朽山委員、新堀委員、野下委員、長谷川委員、福谷委員、三橋委員、棕木委員、柳原委員
議 事	<ol style="list-style-type: none"><li>平成27年度新規委員の紹介 平成27年度新規委員5名のうち、第1回委員会にご欠席された委員2名(福谷委員及び三橋委員)の自己紹介が行われた。</li><li>第 1 回会合議事録(案)の確認 第 1 回会合議事録(案)について確認され、議事録(案)は承認された。</li><li>原子力発電所の操業・解体に伴う廃棄物処理・処分の現状と今後の技術課題について 電事連の平井様より「原子力発電所の操業・解体に伴う廃棄物処理・処分の現状と今後の技術課題について、講演を戴いた。</li><li>バックエンド技術の分類 バックエンド技術の分類区分(大分類、中分類)の見直し案について議論が行われ、用語の統一等を行うこととなった。</li><li>バックエンド技術資料集(仮題)(改定案) 廃棄物処理技術の9分類、廃止措置技術の10分類及び共通技術の3分類(合計22分類)について、第1回委員会における検討及び各委員によるレビュー結果を踏まえた改訂版について議論が行われた。議論を踏まえて、修正及び参考文献の引用元を記述することとなった。</li><li>報告書(案) 特別専門委員会の報告書の概要案について議論が行われ、記載内容の一部を修正することとなった。</li><li>第3回委員会日程 第3回会合を、平成 28 年 1 月 26 日(火)に開催することとなった。</li></ol>
備 考	

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第1回「東京電力福島第一原子力発電所事故以降の低レベル放射性廃棄物処理処分の在り方」特別専門委員会
開催日時	平成 27 年 9 月 28 日(月) 13:30 ~ 17:15
開催場所	中部電力(株)東京支社 第2、3会議室
参加人数	14名 井口主査、佐々木(泰)幹事、榎戸委員、大江委員、金子委員、小崎委員、佐々木(尚)委員、高橋委員、朽山委員、野下委員、長谷川委員、古谷委員、椋木委員、柳原委員
議 事	<p>1. 平成27年度新規委員の紹介 平成27年度新規委員5名のうち、出席委員3名(金子委員、佐々木(尚)委員及び野下委員)の自己紹介が行われた。</p> <p>2. 特別専門委員会設置期間延長について 事務局から、平成26年度までの「東京電力福島第一原子力発電所事故以降の低レベル放射性廃棄物処理処分の在り方」特別専門委員会の活動を踏まえ、引き続き特別専門委員会を設置期間延長して活動を行うとの説明があった。</p> <p>3. 低レベル放射性廃棄物の処理等の技術開発の在り方に関する検討について 事務局から、これまでの委員会での検討のまとめ、今年度の検討内容案及び今後の委員会の予定について説明があった。</p> <p>4. 技術分類の考え方 事務局から、低レベル放射性廃棄物の処理等の技術開発の在り方に関する検討のための技術分類の考え方について説明があった。</p> <p>5. バックエンド技術の分類と調査担当者 事務局から、バックエンド技術の分類と調査担当者について説明があった。この分類の考え方について、大分類である「運転段階での技術」(主に処理施設において適用)と「廃止措置段階での技術」(主に廃止措置サイトの現場で適用される技術)の区分が不適切ではないか等の意見が出され、分類の考え方を整理するとともに一部見直しを行うことになった。</p> <p>6. 報告書目次案 事務局から、特別専門委員会の報告書の目次案について説明があり、概ね了解された。</p>

	<p>7. バックエンド技術資料集(事務局案)</p> <p>事務局から、運転段階の9分類、廃止措置段階の7分類、リリース段階の2分類及び共通技術の3分類(合計21分類)について、技術の概要(目的及び技術内容)、現状技術の課題(問題点の整理、技術の目標)、技術開発の方向性(開発動向、研究開発の枠組み等)、参考図・表、関連技術及び参考文献について説明がなされた後、質疑応答及び議論が行われ、一部記載内容の見直し、参考文献の整理等を行うことになった。</p> <p>8. 今年度の委員会日程</p> <p>今年度の第2回会合を11月19日(木)、第3回会合を平成28年1月26日(火)に開催することになった。</p>
備 考	